

「1人1台端末・高速通信環境」がもたらす学びの変容イメージ

GIGAスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図り、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

これまでの教育実践の蓄積 × ICT = 学習活動の一層充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

	「1人1台端末」ではない環境	学びの深化	「1人1台端末」の環境
一斉学習	<ul style="list-style-type: none"> 教師が電子黒板等を用いて説明し、子供たちの興味関心意欲を高めることはできる 	学びの転換	<ul style="list-style-type: none"> 教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる → 子供たち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に
個別学習	<ul style="list-style-type: none"> 全員が同時に同じ内容を学習する（一人一人の理解度等に応じた学びは困難） 		<ul style="list-style-type: none"> 各人が同時に別々の内容を学習できる 各人の学習履歴が自動的に記録される → 一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能に
協働学習	<ul style="list-style-type: none"> グループ発表ならば可能だが、自分独自の意見は発信しにくい（積極的な子はいつも発表するが、控えめな子は「お客さん」に） 		<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が記事や動画等を集め、独自の視点で情報を編集できる 各自の考えを即時に共有し、共同編集ができる → 全ての子供が情報の編集を経験しつつ、多様な意見にも即時に触れられる

「1人1台端末」の活用によって充実する学習の例

- ☑ 調べ学習 課題や目的に応じて、インターネット等を用い、記事や動画等の様々な情報を主体的に収集・整理・分析
- ☑ 表現・制作 推敲しながらの長文の作成や、写真・音声・動画等を用いた多様な資料・作品の制作
- ☑ 遠隔教育 大学・海外・専門家との連携、過疎地・離島の子供たちが多様な考えに触れる機会、入院中の子供と教室をつないだ学び
- ☑ 情報モラル教育 実際に真偽様々な情報を活用する各場面（収集・発信など）における学習

3

工夫次第で、学びの可能性は無限大に。

ステップ1

”すぐにでも“ ”どの教科でも“
”誰でも“活かせる1人1台端末

ステップ2






教科の学びを深める
教科の学びの本質に迫る

ステップ3

教科の学びをつなぐ。
社会課題等の解決や
一人一人の夢の実現に活かす。

ステップ2：教科の学びを深める。教科の学びの本質に迫る。（小学校版）

例えば…

- 
国語 録画機能を活用して、スピーチをよりよいものとする
 - ・タブレット型端末等を使って、スピーチの様子を録画し、観点に沿って振り返ることで課題を見付け、改善する。
- 
算数 表やグラフの作成
 - ・表計算ソフトを活用するとすぐに表やグラフを作ることができる
 - ・同じデータでも違う見え方をするグラフに簡単に変更することができる
- 
社会 情報を集める・整理し読み取りを考える・話し合ってみて発信する
 - ・各自で収集したデータや地図を重ね合わせ、情報を読み取る
 - ・分析した情報を分かりやすく伝えるプレゼン資料を作成し発表する
- 
理科 学習したことを日常生活や自然の事物・事象と結び付ける
 - ・端末を活用して、気付いたことを写真や動画で撮影・保存する
 - ・収集した写真や動画をクラスで共有する
- 
外国語 コミュニケーションにより発信力を高める
 - ・システムを活用した交流により、様々な相手と英語によるコミュニケーションを図る機会を提供できる